



60100-XGS -KOSO AERO BONNET KIT

for HONDA S2000

取 付 ・ 取 扱 説 明 書

この度は、無限製品をお買い上げいただき、ありがとうございます。
取り付け前には、本書をよく読み、ご理解の上、正しくお取り付けください。
取り付け後は、本書を必ずお客様にお渡しください。

ご注意

1. 開梱後は、ただちに梱包内容（構成部品表を参照）の不足や破損のない事を確認してください。
2. 取り付け前に取付車両の型式の確認を行ってください。
[適応車種] S2000 AP1-100~
3. 商品の塗装後の返品は受け付けませんので、塗装前に無理なく装着できることを必ず確認してください。
4. 純正パーツの取り付け・取り外しは、サービスマニュアルに従って、作業を行ってください。
5. 本製品の加工、組み付け不良、誤使用による不具合・事故等については、弊社は一切責任を負いませんのでご了承ください。

ご不明な点がございましたら下記までご連絡ください。

〒351-8586 埼玉県朝霞市膝折町2-15-11

株式会社 M-T E C 商品事業部 商品課 国内営業ブロック

Tel. 048-462-3135

【営業時間 9:00~18:00】

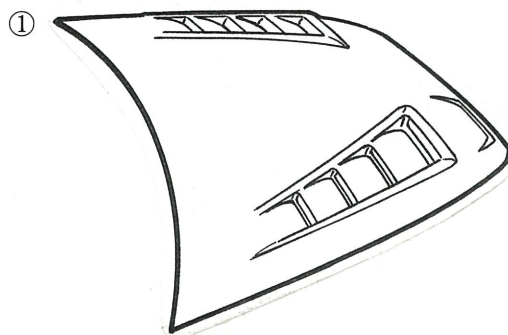
Fax. 048-462-3121

お客様へ

1. エアロ ボンネットが事故や接触等により、破損・変形した場合は、直ちに修理するか又は交換してください。そのままの走行は事故発生の原因になる恐れがあり大変危険です。
2. 定期的にボルト・ナット類のゆるみ、ガタ等を点検し、取り付け状態を確認してください。

【構成部品表】

No.	PARTS NAME	QTY.
①	エアロ ボンネット	1



【必要工具】

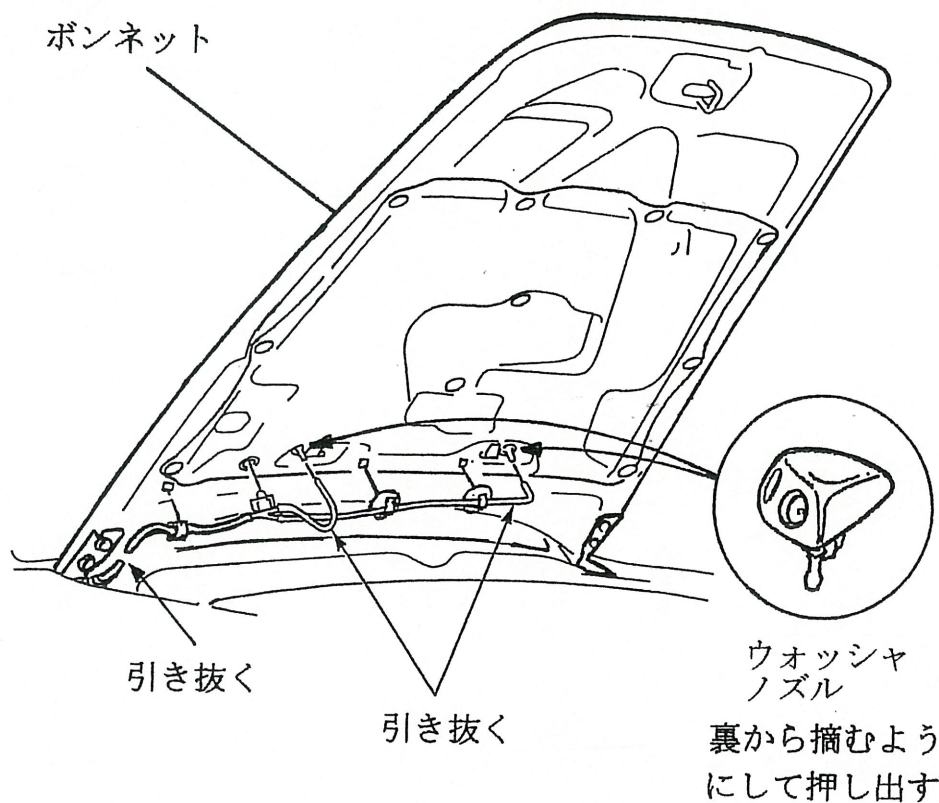
・ラチェットレンチ (10mm) ・トルクレンチ ・スパナ ・クリップリムーバー

《注意》 ・ボンネットおよび車体にキズ等つけないように注意して作業すること。

・作業は、他の人に保持してもらいながら行うこと。

1. ボンネットを開けウォッシャーチューブ、ノズル、ホースクリップを取り外す。

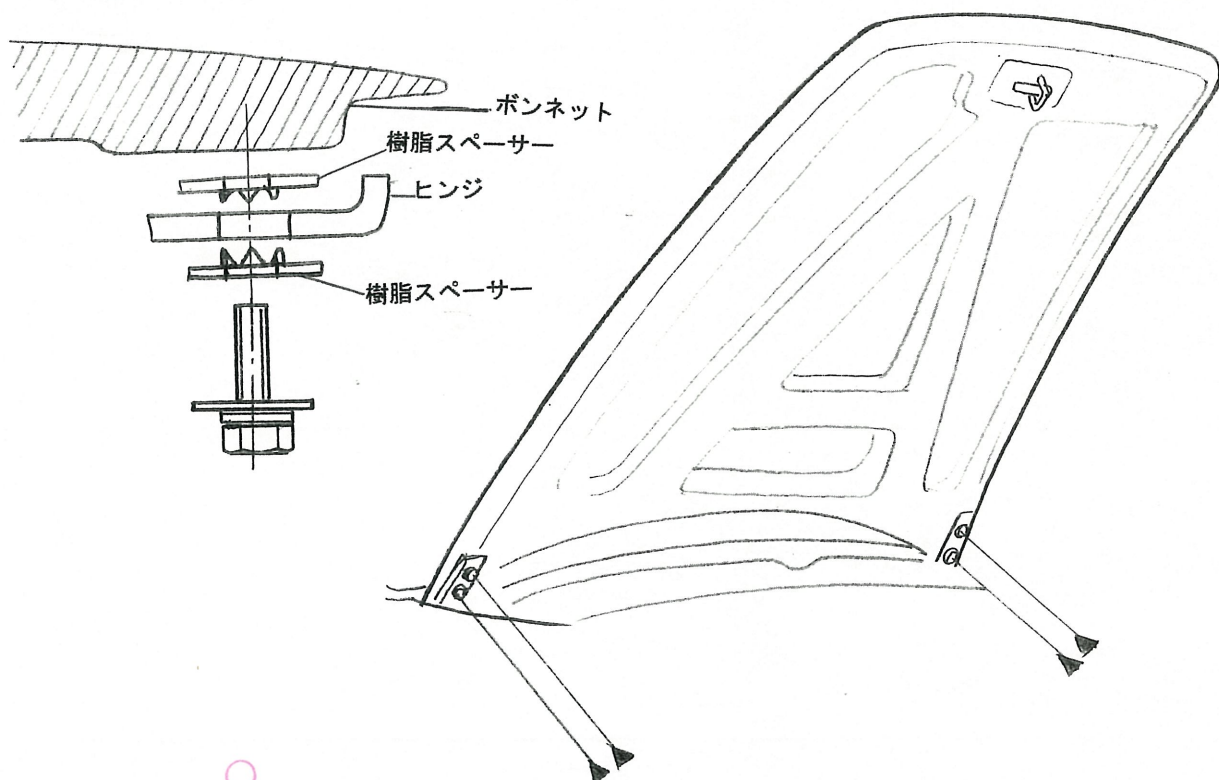
*クリップを外すときはクリップムーバーを使用する。



2. ボンネットのビンジボルトを取り外しボンネット本体を交換する。

*この際、樹脂製のスペーサーを無くさないように注意する。

(樹脂スペーサーは電蝕防止用の重要部品です。カーボンファイバーも導電物質ですので忘れず組み込んでください。)



3. カーボンファイバーボンネットを組み込んだら、ボンネットをそっと閉め、ストライカーの調整と、ボディとのクリアラインを調整する。

*調整前のボンネットを閉めるときはフェンダー等とこすれてキズを付けないよう充分注意すること。

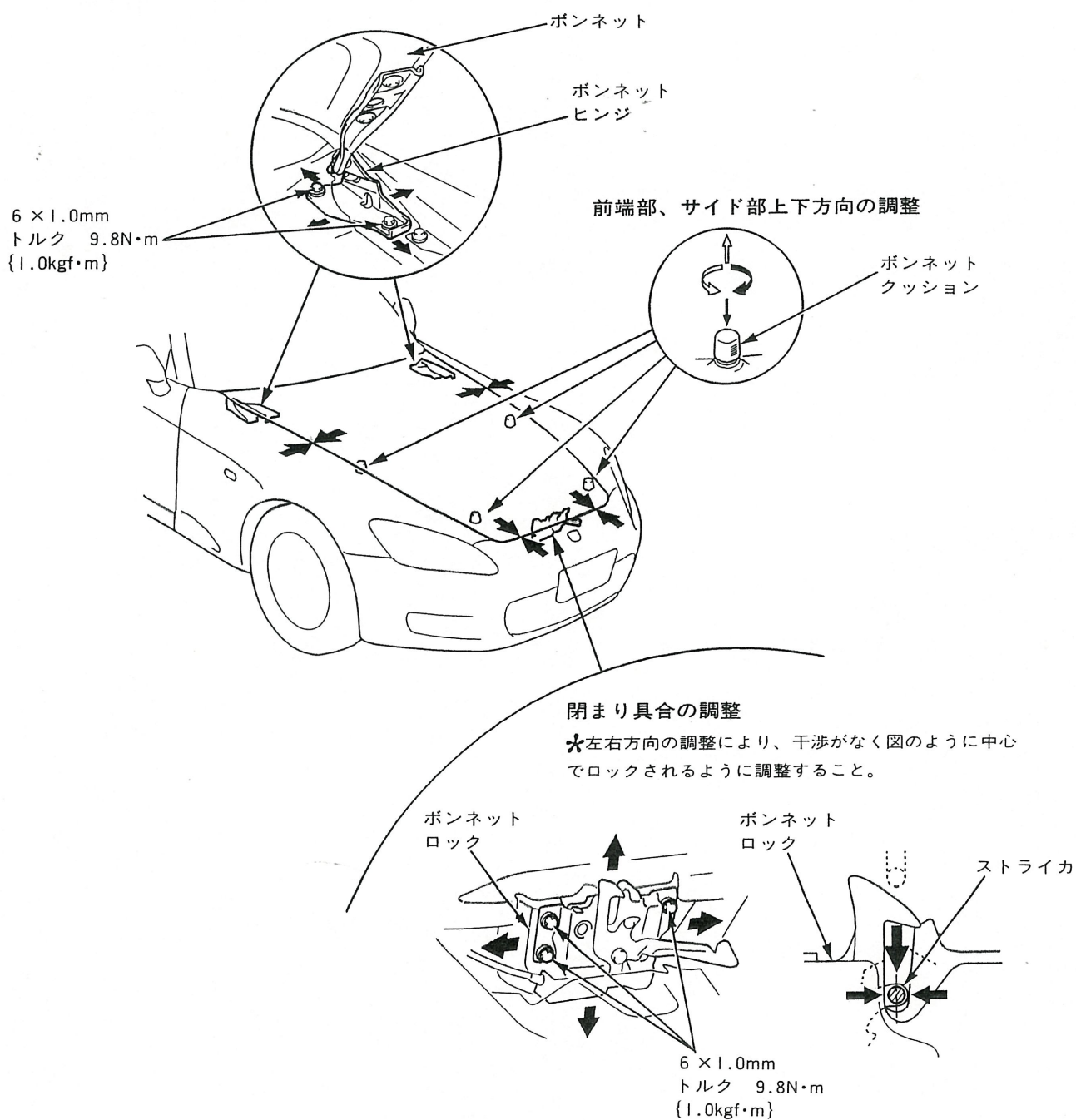
*ボンネットの閉め方は、標準高さから自然落下させるのではなく、ボンネット先端部を手のひらで押し込むように閉める。

*標準位置に対して、ストライカーは上方向に調整し、ヒンジは多少後ろ方向へ移動すると良い。

*外周部の高さ調整はボンネットクッションを調整し合わせる。

前後、左右方向の調整

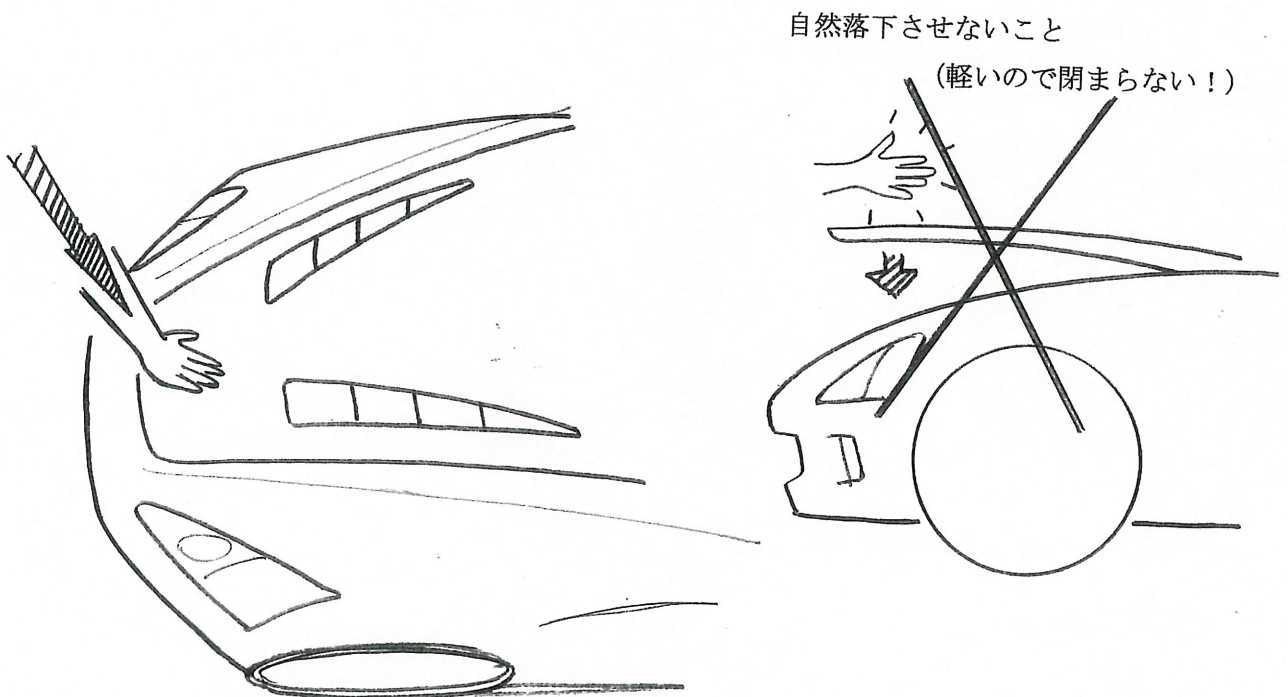
注意 左右方向調整の際は、ボンネット ロックも同時に調整すること。



お客様向け

使用上の注意事項

- * 本製品はフォーミュラカー用車体パーツと同様、カーボンファイバー・エポキシプリプレグをオートクレーブ内で成型した軽量高剛性なボンネットです。
- * 塗装処理せずにそのまま組み込みが可能です。
(紫外線に弱いエポキシ樹脂を保護するため、外表面をアクリルウレタン系クリア塗料とUVカット剤で表面処理してあります。)
- * 車体への組み付けは専門のボディショップで行ってください。
- * 車体色への追加着色も可能です。
(専門のボディショップに説明書を渡し、作業を依頼してください。)
- * この製品には高度な塗装処理が施してありますが、カーボン製品の特性上、繊維目凹凸による影響が若干塗装表面にでてきます。
(カーボン素材の特性で、製品の異常ではありません。)
- * ボンネットを閉めるときは、手で押し込むようにロックしてください。



- * 洗車の際、無理やり熱気ダクトへ水を流し込まないでください。

塗装作業をされるボディショップの方に渡してください。

塗装作業上の注意事項

この商品の外表面には、工場出荷時に3コート3ベーク塗装処理が施されています。
ボンネットを更に追加着色する場合は下記の手順を推奨します。

1. 塗り分けラインを決め、カーボン模様を残す塗り分け面に厚いテープなどでマスキングし、研磨傷が付かないようにする。
2. 着色予定クリアペイント面を#600ペーパーで水研ぎする。
(最小限の根付け作業に止め、削りすぎに注意)
3. 塗り分けラインのマスキングをやり直し、プライミングサーフェーサーを塗布する。
(カンペSUプラサフ等2液反応型のプラサフを使用する。)
4. 一旦加熱処理し、完全に硬化させる。
(60度で40分以上)
5. #600以上で水研ぎし、車体色に着色する。
(ホンダ指定の塗料か、良質の2液性アクリルウレタン塗料を使用する。)
6. 塗装後表面を仕上げ研磨を行う時には、塗膜を十分に加熱乾燥した後に実行する。
(ボンネット表面はエンジンルームの熱気加熱され非常に高温になります。
塗膜が完全硬化していないと、せっかく鏡面に研磨しても熱気で追硬化する際に
塗装面が剥れてしまいます。)

塗り分け例

